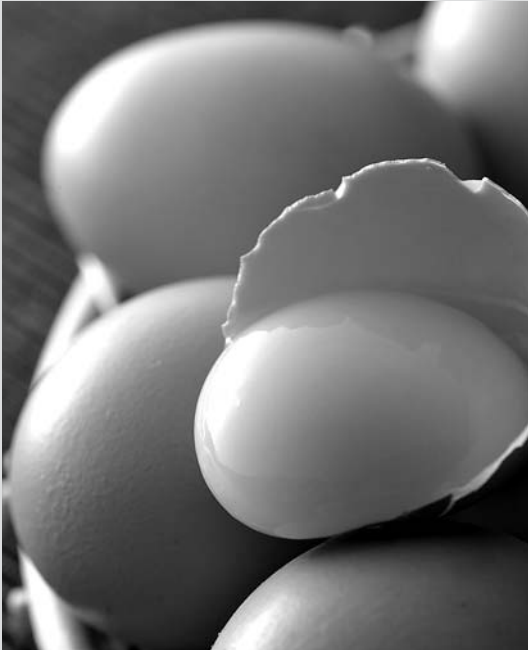


広告



▲畜産は365日休みがなく、鳥インフルエンザをはじめとするさまざまな病気のリスクも伴います。そのため、鶏舎内は関係者以外、立ち入り禁止。入口も2重3重にして万全を期していました。

◀ほんのり甘い「イコロラン」。ぶりぶりの黄身と白身に驚きます。

▶卵は1個1個磨いて出荷。

食の安全が叫ばれる昨今、循環型農業が注目を集めています。石狩でも高岡地区でトマト栽培に取り組む岩城国男さんが循環型農業への一歩として平成21年から養鶏業を開始。その卵は「イコロラン」という名前で販売され、広く人気を集めています。

岩城さんの養鶏場で現在飼育しているニワトリの数は250羽。86坪の広々としたビニールハウスで平飼い（鶏舎内で雄鶏と雌鶏を一緒にした放し飼い）されています。「エサは手作り豆腐のお店『豆楽』のおからや佐藤水産の鮭醤油のしぼりかすなど、地元の良質な有機物を与えています。また、鶏舎の床に敷く敷料もきのこ総合研究所の廃菌床や山加製粉のそば殻など、石狩産にこだわって使っています」という岩城さん。

ところで、「イコロラン」の「イコロ」とはアイヌ語で

「イコロラン」自然のおいしさ

「室」という言葉。その名の通り、卵を割ってみると弾力のある卵白と自然な色合いの美しい黄身が顔を出します。健康なニワトリから生まれた卵は、黄身と卵白がなかなか混ざりませんが、それも新鮮な卵の証。食べるとクセがなく、ほんのりとした甘さを楽しめます。「今後はイコロランを使った加工品の販売にも力を入れていきたいです。何より石狩のブランドとしてたくさんの人に知ってもらい、食べてもらいたいですね。」

■「イコロラン」が購入できる所

- ・市民図書館内喫茶コーナー(花川北7-1)
- ・市観光センター(親船町107)
- ・コープさっぽろいしかり店(花川北3-3)
- ・JAいしかり まるしえ便 ※会員制

<MS~L混合サイズ>
1パック(6個)260円
<Sサイズ>
1パック(10個)260円

芳名帳から

市長室を訪ねて頂いた著名な方々のサイン

を綴った芳名帳、時々見返してみることもある。

2001年7月31日はGLAY。ドリカムのライブ

を筆頭に、石狩の新たな魅力を発信したミュージ

シャン達。ライジングサンロックフェスティバルは間違

いなく石狩新港から放つ元気エネルギーだ。今その

地に市経済のリード役となる大規模データセン

ターの誘致を図っているのも偶然だけとは考えた

くない

◆同年9月、姉妹都市の彭州市委常務

委員、劉志聡氏一行。昨年両市の交流10周年を

共に祝った。「有朋自遠方來。不亦樂乎」。04年

にはキャンベル市、メアリー・アシユリー元市

長の来訪、これまで幾度訪ねて頂いたことだろう。

市内高校からの留学生達にとっては「キャンベルの

お母さん」とも言える。交流も28年目を迎えた

◆06年、スノーボードの高校生オリンピック選手國

母和宏君、目力が飛び抜けていた。「結果より内

容」と、繰り返し発言。「結果も内容も」と思うの

は地元ゆえの欲張りか。モーグルの附田雄剛選手

は昨年いらした

◆ノルウェー児童家庭省子ども

長官アン・マリット・セーボネス氏(元オスロ市長)、

自ら障がい者であり、ノーマライゼーション革命の

リーダー。「日本は問題意識や課題設定を多くの

方が持っている、今は大切な時期に入っている」と

メッセージを残した。忘れることのできない刺激的

な時間だった

◆紹介しきれない程の来訪者の

方々に共通して言えることは、いずれも市民活動

と深くかかわっての訪問、芳名帳をめくりながら

改めて市民パワーにうなずいた。(市長)

※『論語』一節。朋有り遠方より來たる、亦た樂しからずや